

美郷町消防出初式



観閲を受けて行進する団員

平成21年美郷町消防出初式が1月4日、仙南公民館を主会場に行われ、町消防団14分団337人が参加しました。

式典に先立ち、総合体育館リリオス前で松田町長らが観閲する中、団員の力強い行進が行われました。

仙南公民館で開かれた式典では、松田町長が「団員皆さんの精励により住民生活の安全は一段と推進されているが、社会経済の変化に伴い災害発生の危険性は年々高まっている。新年を迎え、心新たに住民の負託に応えていただくようお願い申し上げます」と式辞。続いて、田澤清喜団長が「災害が発生した場合、その被害を最小限に食い止められる結束力が必要。日頃の訓練活動等を怠ることなく、防災の技術向上に力を注いでいただきたい」と訓辞を述べました。

また、消防活動に功績のあった93人、3団体の表彰が行われ、受章者を代表して第9分団副分団長の畠山貞義さんが謝辞を述べるとともに、出席者全員による万歳三唱が行われ、今年一年の防災を誓いました。

消防団員表彰者（敬称略）

【秋田県知事表彰】

▼有功章 煙山健（第1分団部長）、畠山貞義（第9分団副分団長）、木村祐市（第12分団副分団長）、東海林玉夫（第12分団部長）

▼永年勤続章（35年以上勤続） 田澤清喜（団長）、奥山幸誠（第5分団副分団長）、五十嵐養藏（第14分団副分団長）、照井正明（第14分団部長）

▼永年勤続章（30年以上勤続） 杉澤賢（第3分団分団長）、照井勇一（第3分団部長）、伊藤勉（第3分団副分団長）、森元新整（第5分団分団長）、加藤民昭（第6分団副分団長）、山崎和生（第7分団副分団長）、谷屋和義（第8分団副分団長）、斉藤一夫（第12分団副分団長）

▼永年勤続章（25年以上勤続） 高橋誠喜（第2分団部長）、杉澤雅英（第3分団副分団長）、高橋強志（第5分団副分団長）、谷屋龍孝（第5分団副分団長）、高橋幹雄（同）、辻清己（第7分団副分団長）、深沢修一（同）、前田豊実（第7分団副分団長）、佐藤一問（同）、斉藤昭雄（同）、坂本政一郎（第8分団副分団長）、鈴木三代司（第10分団副分団長）、伊藤孝順（第11分団副分団長）、佐々木吉則（第12分団副分団長）

▼永年勤続章（20年以上勤続） 高橋信（第6分団副分団長）、藤井但（第8分団副分団長）、高橋一勝（第9分団副分団長）、木村隆悦（第11分団副分団長）、木村恭一（第11分団副分団長）、伊藤栄（同）、大類正（第12分団副分団長）、高橋茂（第14分団副分団長）

【秋田県消防協会会長表彰】

▼勤続章（10年以上勤続） 田口博美（第4分団副分団長）、井関優（第10分団副分団長）、中野満（同）、高橋剛（同）、梅川

浩孝（同）加藤廣（第12分団副分団長）

【秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部長表彰】

▼精勤章（7年以上勤続） 若畑隆文（第1分団副分団長）、嶋津聡（同）、高階充（同）、高山良浩（同）、戸沢栄治（第2分団副分団長）、富樫孝司（同）、田沢悟（同）、齊藤民寿（第3分団副分団長）、熊谷勝明（第3分団副分団長）、富樫雄一（第4分団副分団長）、鈴木一良（第6分団副分団長）、松本孝成（第7分団副分団長）、藤岡由守（第8分団副分団長）、畑山義一（同）、小柳友一（同）、石田忠治（第12分団副分団長）、齊藤喜代美（同）、近江谷琢磨（同）、金子勉（第13分団副分団長）、照井吉則（同）、佐藤守（同）

【美郷町消防団長表彰】

▼精勤章（3年以上勤続） 熊谷幸太（第3分団副分団長）、深澤仁（第4分団副分団長）、高橋良至（同）、加賀谷太一（同）、高橋聡（同）、加島昌央（同）、田本修（同）、奥山洋輝（同）、大隅隆（同）、戸沢武昭（第8分団副分団長）、藤井翔（同）、藤岡宏輔（同）、高橋功夫（第10分団副分団長）、高橋修一（同）、高橋良信（第11分団副分団長）

【美郷町長感謝状】

▼無火災分団 第7分団（7年間無火災）、第2分団（4年間無火災）、第13分団（3年間無火災）

▼退団者（15年以上勤続） 小林正敏（元分団長）、傳野公太郎（元分団長）、岡本誠毅（元副分団長）、藤島猛（元副分団長）、高階孝一（元副分団長）、杉本秀雄（同）、東海林秀秋（同）、継田義克（同）、小林孔昭（同）、高階雄一（元副分団長）、高階稔（同）、高橋恒夫（同）、澁谷耕作（同）

2 個人 2 団体を表彰 第2回美郷町芸術文化賞

第2回美郷町芸術文化賞授与式(美郷町芸術文化協会主催、高橋進会長)が1月24日、仙南公民館で開かれ、多年にわたり地域の芸術文化の向上に貢献した方や芸術文化団体の指導にご尽力された2人2団体を表彰しました。

美郷町芸術文化賞とは

美郷町芸術文化協会が、本町における芸術文化活動において、特に顕著な功績及び実績をあげた団体及び個人を顕彰することによって、後進の意欲を高め、活動の奨励をはかることを目的とする。
「功労賞」「栄光賞」「奨励賞」の3つの賞があり、それぞれの基準により選考が行われる。



功労賞(個人) 生け花講座

小林ミサ子さん(土崎北部)

昭和41年、千畑北公民館内に有志20人で、生花教室「古流清和会」を組織し、以来毎週1回教室を開き、生け花指導にあたられております。昭和47年に師範資格、昭和54年には家元華務職を取得されております。昭和60年からは、生涯学習奨励員としても活躍され、伝統華道の伝承、礼儀作法など、親しまれる組織づくりに尽力されています。

栄光賞(個人) 民謡同好会

後藤 弘さん(中前郷)

昭和46年、前森民謡同好会を発足させ、その活動とともに研鑽を積み、様々な大会で活躍されています。中でも金澤八幡宮掛唄大会には、昭和42年から毎年欠かさず出場を続け、3回の優勝を飾っております。また、相撲甚句にも挑戦し、全国大会で4回の殊勲賞を受けられました。平成14年には自宅に道場を開設、会員の指導や後進の育成にも力を注いでおられます。平成19年には(財)日本民謡協会賞を受賞されています。



奨励賞(団体)

せんはた松並コール(佐藤定子代表)

同団体は、平成2年千畑公民館生涯学習のお母さんコーラスとして16名で結成。平成3年に「せんはた松並コール」と変更し、平成4年から定期的に「せんはた松並コンサート」を開催し、会場を訪れた人々に大きな感動をあたえています。また、大曲仙北合唱祭、福祉施設、老人施設でのイベントなどにも積極的に参加し、世代間の交流や地域の活性化に大きな貢献をされています。

奨励賞(団体)

さなぶり発表会(澁谷久一代表)

同団体は、カラオケの同好者が集う小さなグループから出発し、昭和54年の発表会をきっかけに、翌年には民謡と舞踊の団体と提携して共同の催しに発展させるなど、発表会を通して地域住民に大衆芸の楽しみを提供しつつ、チャリティなど福祉活動でも大きな貢献をされています。また、平成2年の第1回全県素人うたとおどりのフェスティバル創設など、現在の礎を作るとともに、アマチュア芸能の定着に町域を超えた功績があります。

